



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2021年 1月 1日発行

1月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 118 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

新型コロナ禍の克服へ 検査の拡充、医療への支援を!



向日市議会議員 杉谷伸夫 所属政党なし
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。66才

みなさま。新年おめでとうございます。新しい年の始まりを迎え、「市民参加でまちをつくろう！」の初心に立ち、めざすべき地域社会の実現へ、決意を新たにしています。

新型コロナ感染症の広がりは今後どうなるか予測できませんが、まず何より私たちの命を支えている公衆衛生・医療への最大限の支援が必要です。そして私たち一人ひとりが感染防止の行動を取ること。そのためには、誰でもいつでも検査を受けることができる体制を作っていかなければなりません。向日市議会は検査・医療体制の強化等を求める意見書を国に提出しました。また市議会では、行政事務のデジタル化を中心とする4億円強の補正予算を可決しました。しかし検査の拡充や市民生活への直接支援の予算がないため、今後実施するよう向日市と京都府に対して求めています。今年もどうぞよろしくをお願いします。(2020年12月23日・杉谷伸夫)

市役所新庁舎がオープン

向日市役所本庁の新庁舎が、新年1月4日よりオープンします。福祉関係や市民課の手続きは、従来通り東向日駅前の別館ですが、住民票・印鑑証明は新庁舎(税務課窓口)でも発



完成直前の新庁舎。(12月21日撮影)

新型コロナ：年末年始・夜間休日の相談
きょうと新型コロナ医療相談センター
075-414-5487 (24時間対応)

杉谷さんとともにまちを創る会

★1月9日(土)10時 新年特別例会
会場：まちてらすMUKO・2階
(向日市観光交流センター2F・地域交流スペース)

行可能となります。5階には展望レストランが開設されますので、楽しみですね。

市民会館は、旧本庁舎を解体後に建設に着手し、2022年秋に完成の予定です。

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



多くは行政事務のデジタル化に

12月定例会では、国の新型コロナ対応交付金を使った補正予算計約4億2千万円などを可決しました（右表参照）。また民間保育士確保のための奨学金創設方針が表明されました。来年度予算化にむけて、詳細は今後検討されます。

予算は公開型統合GIS導入に約2億円等、行政事務のデジタル化が大半を占め、一方市民への直接支援はありません。新型コロナ感染が急拡大している状況と、新型コロナ対策という目的趣旨から考えて疑問はありますが、今後の向日市政にとって重要な事業なので賛成しました。今後、コロナ対策として市民への支援強化を求めました。

市民への支援を！PCR検査を！

①新型コロナ渦から市民を守るため、希望する市民が検査を受けることができるよう市民への支援を行うこと。感染拡大の第3波は、感染経路不明

者が増え市中感染が広まっています。積極的な検査と陽性者の保護による感染抑止を図っていかねばなりません。向日市独自の行政検査はできなくても、検査を実施する高齢者施設や、検査を望む市民への補助は可能です（4面参照）。

②新型コロナの影響が長期化する中で、新年には生活に困る方々が大きく増えることが心配されます。引きこもりによる高齢者への影響も心配です。市民へのこうした直接支援の施策が必要です。

議決された主な補正予算等

- ・支援対象児童見守り強化（子ども宅食など）
- ・投票所・開票所の感染症対策
- ・手話動画制作
- ・公開型統合GIS導入（道路・上下水道・都市計画）
- ・小中学校・留守家庭児童会の空調修繕整備
- ・図書館・資料館システムのIT化
- ・小中学生全員分のタブレット端末の購入契約

特別委員会のうごき

まちづくり特別委員会

昨年来、向日市のまちづくりに大きな影響のある次の5つの事業について報告を受け、質疑・意見交換をおこなっています。

- ①JR向日町駅周辺市街地再開発：10月に都市計画決定されました
- ②阪急洛西口駅西地区のまちづくり：10月にまちづくり協議会による都市計画素案の住民説明会が行われました
- ③森本東部地区（日本電産ビル建設予定地）の土地区画整理事業：12月にC棟建築工事着手
- ④物集女街道の拡幅整備
- ⑤向日市観光交流センター：愛称「まちてらすMUKO」として11月にオープンしました。

議員定数検討等・議会改革特別委員会

昨年より「議員定数削減の是非」を議論してきました。私は「議員を減らせば減らすほど民意の反映が弱くなる」「定数を減らすのではなく、議員は報酬に恥じない活動をするべき」と反対

意見を述べましたが、今後は定数を何名に削減するべきかの検討をおこなうことになりました。

公共施設のあり方特別委員会

公民館の使用状況とあり方、今年5月に策定された小中学校個別計画（施設の長寿命化）について教育委員会の説明を受けました。

採択された請願、意見書

請願

- 私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願（趣旨）
- 東山を通るバスの増便（元に戻す）を求める請願

意見書

- 義務教育における30人学級の推進を求める意見書
- 日本学術会議への任命拒否問題についての意見書
- 核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割りを果たすことを求める意見書
- 安全・安心の医療の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書
- 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書

12月向日市議会・杉谷伸夫議員の一般質問の報告

保育所

保護者要望 1つ1つ実現を！

向日市の民間保育所では、すべての乳幼児に主食も副食も提供していますが、公立保育所は3～5歳の幼児には主食は提供していません。その他にも「使用済み紙おむつを持ち帰らなくて良いようにしてほしい」等保護者の声を伝え、実施に向けて検討するとの答弁がありました。



などのスペースが無く、大規模な改修工事が必要だが、増築する場所がない保育所（第6保育所）もあるので、すべての保育所で実施するにはどのようにすればよいか検討している。」

保護者へのメール緊急連絡体制

「保育所に無線LANを設置する予定なので、実施にむけて検討する。」

この他に、「使用済み紙おむつの処分」「ふとんのレンタル」についても、検討を進めるとの答弁がありました。1つ1つ実現に向けて前へ進めて頂きたいと思います。

あたたかいごはんの提供

「主食の提供は実施したいが炊飯器や作業場

プラごみ一括収集は市の負担大

ごみ収集

問 「指定ごみ袋導入」について実施したパブリックコメントの結果は？

答 59人から意見を頂き、「指定ごみ袋導入だけでは抜本対策にならない」との意見が大半だった。指定ごみ袋の導入のほか、資源ごみの収集方法をステーション方式から各戸収集に変更することなど、様々な対策を検討している。

問 資源ごみの各戸収集は望ましいが、収集コストが心配だ。特に国がプラスチックごみ一括回収の方針を出しているが、回収するプ

ラスチックごみの量が大幅に増え、市町村に大きな負担がかかるのではないかと試算資料を市の廃棄物減量等審議会に提出して審議していただきたい。



答 プラスチック資源を一括回収することで、処理費用が増し、本市の負担が増加したり収集体制に影響を及ぼすようなら、しっかり国に要望していく。その際には、市の審議会にしっかり資料を提出し、審議いただく。

市政改革

不当要求対策だけの条例はダメ

一年半前、向日市の生活保護担当の職員が、自らが担当する生活保護利用者の元暴力団員に脅されて犯罪に巻き込まれる事件が起きました。向日市行政は不当要求に対して組織的な対応を行っていませんでした。そこで向日市は「不当要求行為等対策条例」の検討を進めています。

問 大半の市民にとっては「不当要求」は無縁であり、切実な要望・意見が放置されたりせず、適切・迅速に扱われることを求めている。不当要求対策に限定せず、「向日市職員の

公正な職務の執行を確保する」ための条例として、その中に不当要求対策を盛り込むべきではないか。市の考えはどうか。

答 「不当要求に対して組織的対応ができるように」というのが条例検討の出発点だった。その目的を変えるのであれば、ご指摘いただいていることは至極当然の内容だ。様々な意見がある中で、どういう内容で行くべきか検討している。まとめ次第、修正した条例のたたき台を市議会に示してご意見を頂きたい。

一年で終わって ほしい菅政権

安野 洋子

菅首相の記者会見を見ながら、何と言葉のない人間かと思った。予算委員会でも「答えを差し控える」と84回も繰り返したが、初めての記者会見でも、下ばかり見て言葉が出てこないのは、人間として中身が足りないのではないか、つくづくそう感じさせられた。

秋田から百姓は嫌だ、出世したいと政治を志して一步一步進んで総理大臣に到達したということだろう。苦勞しながら大学を出たかもしれないが、教養を積み重ねることまでは行かなかったのか。まず首相になって言ったことは、携帯電話の値下げとデジタル化だけだった。コロナ問題で挫折した安倍首相の後なのに、コロナ対策をどう思っているのか。第三の波が押し寄せているのに、医療支援や感染予防がなおざりにされている。景気対

策が優先のようで、医者たちから批判が出ているのに、旅行や会食を促すGO TOばかり熱心である。

それに呆れ果てることは、菅政権は政権を監視すべきマスメディアを監視しているという。「内閣広報室」はニュース番組の発言をせっせと記録しているという。なんと腹立たしいことか。それにまたまた竹中平蔵の出現があるらしい。私は以前から新自由主義者で学者の名を借りた悪徳商人と思っていたが、菅首相が小泉政権の総務副大臣だった時の大臣だった竹中平蔵に洗脳され続けているという。菅首相の能力不足は日本の代表として何一つ希望が持てない。一年で終わって欲しい。

臨時国会でも、日本学術会議が推薦した6人の候補者を任命拒否した問題に、111回「答弁を控える」と言った。学問の自由を保障する憲法23条を菅首相は知っているのか。学術会議が軍事研究を否定した過去の声明を継承することを知っているのか。人間としての勉強のなさを感じてしまう菅首相では無理なのか、ついに支持率が40%、不支持率が49%になったらしい。1月18日から始まる通常国会でも、野党は厳しく追及して欲しいし、菅首相は答えるべきであると思う。2021年はどんな世界になるのか。来年83歳になる私は、じっと見つめでやろうと思っている。(2020年12月15日)

「PCR検査の拡充と医療機関への支援を！」 京都府・京都市に申し入れ

市民団体のみなさんと一緒に、12月18日に京都市、23日に京都府の新型コロナウイルス感染症対応の担当部署に「新型コロナウイルス検査の拡充と医療機関への支援」の要請に行ってきました。私たち市民の要求と、国の指針・連絡（右欄参照）に従い、積極的な検査を実施するよう求めました。(杉谷)



京都府に要請書を提出し、申し入れ（12月23日）

積極的なPCR検査の実施を求める 厚労省の指針や連絡（要旨）

感染が拡大している地域においては、以下の対応をおこなうよう、国は自治体に通知しています。（但し十分な財政措置が無いのが問題です！）

- 感染拡大防止のため、地域の関係者を幅広く、積極的な検査を実施すること（9/11）
- 医療機関・高齢者施設等の従事者、入院・入所者全員に一斉・定期的な検査を行うこと（9/11）
- 高齢者施設等が自費で検査を実施した場合は、緊急包括交付金の補助の対象とする（11/19）
- 発熱患者等が医療機関を受診した際に、他の疾患の疑いが強い場合を除き、積極的に新型コロナウイルス感染症の検査を実施すること（11/20）

※世田谷区・千代田区・墨田区・神戸市・寝屋川市などで、高齢者施設の全員検査実施を予定。